

平成 24 年 8 月 30 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 平成 24 年 8 月 30 日 (木曜日)

午後 3 時 30 分から午後 4 時 45 分まで

2 場 所 中央公民館 401 教室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生      委 員 羽賀 友信      委 員 中村 美和  
委 員 青柳 由美子      教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	矢沢 康子
教育総務課長	若月 和浩	教育施設課長	安部 和則
学務課長	近藤 知彦	学校教育課長	田中 仁
子ども家庭課長	佐藤 正高	保育課長	栗林 洋子
中央公民館長	武樋 正隆	中央図書館長	品田 満
科学博物館長	山屋 茂人	学校教育課主幹兼管理指導主事	関谷 祐二
学校教育課主幹兼管理指導主事	大矢 慎一		

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	新沢 達史	教育総務課庶務係長	水内 智憲
教育総務課庶務係	平澤 司		

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 49 号	平成 23 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について
3	第 50 号	条例改正の申出について (長岡市立学校使用条例の一部改正)
4	第 51 号	条例改正の申出について (長岡市保育園条例の一部改正)
5	第 52 号	補正予算の要求について
6	第 53 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

## 7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 8 月定例会を開会する。

---

### 日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

---

### 日程第 2 議案第 49 号 平成 23 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 49 号 平成 23 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について を議題とする。事務局の説明を求める。

(佐藤教育部長) 平成 19 年度に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、教育委員会で点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務付けられている。また点検及び評価については、教育に

関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることになっている。そこで、学校教育、社会教育及び子育て支援の各分野の学識経験者4名で構成される事務評価委員会において、点検及び評価を進めてきた。本委員会は5月21日、7月5日、7月30日と3回開催し、7月5日には教育委員の皆様からも出席いただき、活発な意見交換をしていただいた。これら3回の会議を経て、8月10日に中曽根事務評価委員長から大橋教育委員長に点検及び評価に関する意見書が提出された。本報告書の構成は、教育委員会定例会の開催及び審議状況等、長岡市教育振興基本計画の施策に沿って行った教育委員会における事務の点検及び評価、事務評価委員会からの意見書となっている。事務が非常に広範囲にわたる中、どの分野においても課題解決に向けて創意ある施策をきめ細かく着実に進め、目標達成が概ね視野に入ってきている項目も多いことから、全体的に評価できる進捗状況であるとの評価をいただいた。事務局としては、今後も気を引き締めて業務にあたっていきたい。

(大橋委員長) 報告書の内容について順次質疑、意見を求める。まず、事務評価委員会から示された点検及び評価に対する意見書の「教育委員会会議の開催及び審議状況等について」に関し、質疑、意見はないか。

(中村委員) 教育委員会定例会を傍聴する人数の増加や、PTA及び地域の方などへの拡大を図るとあるが、PTAの傍聴はなかなかないようである。

(大橋委員長) これまで、教育委員会定例会を学校で開催するなど、特に学校関係者からは多数傍聴していただいている。広報の仕方を見直すとあるが、現在、会議開催の広報をどのように行っているのか。

(若月教育総務課長) 告示文をホームページに掲載し、マスコミや議会向けの行事会議案内にも掲載しているが、PTAや地域の方への特段の告知はしていない。

(羽賀委員) ITの普及でホームページに掲載している会議録を見る人もいるだろう。それから、本当に議論をしているのか直接確認したい人もいると思う。また、ただ暇つぶしで傍聴する人もいると思う。ただ傍聴者が増えれば良いというものでもない。

(大橋委員長) 場所を移して教育委員会定例会を開催することの効果は上がっているように思う。事務局には更に改善を続けてほしい。

(若月教育総務課長) 教育委員会定例会の会議録は市のホームページに掲載してお

り、そのことが新潟日報で取り上げられた。既にご承知のとおり、会議録には委員の皆様が発言や事務局の説明など、詳細な内容を公表しているため、会議の内容についてはそれを見て確認できる。

(加藤教育長) 教育委員会は他の委員会よりも傍聴者が少ない。過去に傍聴が多かったのは、教科書採択や2学期制導入などの大きな変化があった時である。大きな変化は毎回あるわけではないため普段は傍聴者が少ない。だからといって無関心ということでもないと思う。普段の子どもの様子に安心して傍聴に来ない保護者もいるだろう。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、続いて、「教育委員会における事務の点検・評価について」のうち、「1 生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現」について、質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 子育ての駅の運営や取組みについて、アンケートなどで満足度の調査を行い、今後に生かすことも必要と考えるとあるが、単年度ごとにとらえるだけでなく、3年、5年など長期的な変化も参考にする必要があると思う。

(加藤教育長) アンケートでなくても、来館者の様子から満足度はある程度推し量れると思うし、子育て関連のグループが会合を行っているため、その会合の意見を参考にしてもよいのではないか。

(佐藤子ども家庭課長) 例えば、子育て支援事業として講座を開いた場合には、参加者からアンケートをいただいている。アンケート結果だけでなく、幅広い意見を集約して今後に生かしていきたい。

(青柳委員) 健康づくりへの支援の強化や推進について、今後は、主任児童委員、児童委員などの児童福祉分野と母子保健推進員、保健師などの母子保健分野との横のつながりを一層深めていくことが重要と考えるとあるが、具体的にはどのようなことを考えているのか。

(佐藤子ども家庭課長) 母子保健推進員と主任児童委員がペアになって訪問するケースがあるが、制度として行っているものではなく、便宜上そのようにしている。出産後すぐの場合は母子保健推進員、小学校に上がる前は主任児童委員が担当する

ため、その引継ぎの意味も兼ねているのかもしれない。地域によっては、民生委員、主任児童委員及びコミュニティセンター長等が集まって意見交換しているところもある。いずれも制度的なものではないが、非常に大切なことである。

(加藤教育長) こんにちは赤ちゃん訪問事業や赤ちゃん相談会の実施率が 97%ということで大変高い数字であることから、早期に子どもの病気に対応でき、結果として重症化を防ぎ、医療費の縮減にも繋がる。大変良い取り組みである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、続いて、「2 人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現」のうち、「(1) やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進」から「(4) 安全・安心な教育環境の整備」までについて、質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 学校と教育委員会で、一工夫した防災訓練を企画してほしいとあるが、これらについてはどうか。

(若月教育総務課長) 今年度、それぞれの学校で工夫した防災訓練を実施しているが、その様子を教育委員の皆様に見ていただきたいと思う。

(羽賀委員) 石巻市立大川小学校で、多数の児童が津波の犠牲になったことの検証もされているので、そのあたりを防災訓練に盛り込んでみることも重要であると思う。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、続いて、「(5) 市民主体の生涯学習の推進」及び「(6) 歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進」について、質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 長岡市の図書館の利用者数、蔵書数が優れていることは、長岡市の特色を基本に据えた取組みとして大変良いことだと思う。

(品田中央図書館長) 図書館業務を全て指定管理者に委託した自治体がある。その自治体では、読みやすい本を中心に蔵書を増やして利用者数を増やしていると聞いている。しかし、長岡市の図書館はきちんとした蔵書収蔵方針に基づいて、しっかり利用者を増やしていきたい。

(大橋委員長) 全体を通して、質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 子育て支援サービスの拡充として、児童虐待防止の取り組みを一層推進とあるが、虐待の根本原因を解決するため、いろいろな機関と連携しながら総合的に対応していることを前面に出してはどうか。

(矢沢子育て支援部長) それぞれの相談の背景にある事柄について、いろいろな機関と連携しながら掘り下げて対応していることを今後は前面に出していきたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

日程第3 議案第50号 条例改正の申出について(長岡市立学校使用条例の一部改正)

(大橋委員長) 日程第3 議案第50号 条例改正の申出について(長岡市立学校使用条例の一部改正) を議題とする。事務局の説明を求める。

(安部教育施設課長) 宮内中学校のグラウンド整備を8月から順次着工しており、今年度11月末に竣工する予定である。このことに伴い、本条例の別表に、宮内中学校の屋外運動場の使用料を新たに規定するものである。使用料は午前、午後及び夜間とも、それぞれ1,400円である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 別表に規定されている午前、午後及び夜間の時間帯は、それぞれ何時から何時までか。

(安部教育施設課長) 午前は8時から正午まで、午後は1時から5時まで、夜間は6時から10時までである。

(青柳委員) 午前8時から午後5時まで使用した場合の使用料は、2,800円かかるということか。

(安部教育施設課長) そうである。



(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

日程第4 議案第51号 条例改正の申出について(長岡市保育園条例の一部改正)

(大橋委員長) 日程第4 議案第51号 条例改正の申出について(長岡市保育園条例の一部改正) を議題とする。事務局の説明を求める。

(栗林保育課長) 現在、白山保育園の移転改築工事を行っている。移転のため、住所が変更になることに伴う所要の改正である。平成24年12月10日に新しい園舎で保育を開始する予定である。現在の定員は80名だが、新しい園舎になることで定員は50名増の130名となる。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

日程第5 議案第52号 補正予算の要求について

(大橋委員長) 日程第5 議案第52号 補正予算の要求について を議題とする。事務局の説明を求める。

(若月教育総務課長) 9月議会に要求する補正予算について説明する。まず、教育総務課から説明する。歳入について、中学校の図書購入にあててほしいと寄附があったため、これを計上した。歳出について、寄附者の意向に沿い、図書を購入する

費用を計上した。

(田中学校教育課長) 学校教育課の歳出について説明する。新潟っ子スキー体験拡大パイロット事業費は、スキー発祥の地である新潟県の子どもたちに、インストラクターの指導によりアルペンスキーの体験をさせたいというものである。市内の信条、日吉、和島、寺泊の4小学校を対象に行う。次に、学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究事業費については、千手、栖吉、希望が丘の3小学校、西中学校1校で研究協力員として司書資格のある方を募集し、学力向上に向けた学校図書館を授業等で活用する方法を調査研究するものである。歳入については、県からの委託金を計上したものである。

(山屋科学博物館長) 科学博物館の歳出について説明する。五百刈遺跡発掘調査事業費は、県営ほ場整備事業(富島地区)の工事範囲の拡大に伴い、五百刈遺跡の本発掘調査範囲が拡大したためそれにかかる調査費を増額するものである。続いて緊急雇用創出事業費は、緊急雇用創出制度を活用し、歴史生活資料の整理作業を実施するものである。また、大英博物館展示交流事業費は、このたび火焰型土器、王冠型土器の2点を大英博物館で特別展示することとなり、それにかかる旅費、郵便料、通訳経費等を計上した。歳入については、国庫補助金として遺跡発掘調査費補助金、県補助金として遺跡発掘調査費補助金及び緊急雇用創出事業臨時特例基金補助金、県からの受託収入として五百刈遺跡発掘調査受託収入を計上した。

(佐藤子ども家庭課長) 子ども家庭課の歳出について説明する。国・県補助金等返還金は、子ども手当交付金等の平成23年度事業費の確定、精算に伴う返還金を計上するものである。子ども家庭支援事業費は、子どもの虐待防止啓発事業「子育て支援講座」(NPプログラム)を実施するため、必要な経費を計上するものである。歳入については、県補助金として新潟県地域子育て支援講座事業補助金、過年度収入として平成23年度子ども手当に関する国庫交付金及び県交付金精算金を計上した。

(栗林保育課長) 保育課の歳出について説明する。国・県補助金等返還金は、特別保育事業の平成23年度事業費の確定、精算に伴う返還金を計上するものである。歳入については、保育所運営の事業費が確定したため、過年度収入として平成23年度国・県負担金精算金を計上した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(中村委員) 大英博物館への火焰型土器の展示について、長岡市の職員が大英博物館に直接行くのか。

(山屋科学博物館長) オープニング時に市長が行くことになっている。また、火焰型土器は壊れやすいため、2名の職員が直接持参する。今回の件は、大英博物館からオファーをいただき、入館者が必ず通るエントランス横の特別展示室に展示される予定である。長岡市を世界に発信する最高のチャンスである。

(中村委員) この件を長岡市として公表、発信しているのか。

(佐藤教育部長) この件に関し、本日、市長の記者会見があった。明日以降、新聞やテレビで発信される予定である。土器は郵送できないので、特別な許可を得て、飛行機内に直接持ち込む。科学博物館の学芸員と、県立歴史博物館の専門研究員の2名で持参する。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

#### 日程第6 議案第53号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(大橋委員長) 日程第6 議案第53号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(若月教育総務課長) 10月28日に開催する長岡市教育委員会表彰の被表彰者の決定についてである。被表彰候補者については資料に記載の16名である。功績等の内容については、記載のとおりであり、内規で定めている基準を満たしているものである。なお、詳細については定例会前のヒアリングで説明したので割愛させていただく。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、それでは、定例会前に実施したヒアリングを踏まえ、各被表彰候補者について、被表彰者として適しているか否かを決定したい。

[ 表彰規則の各号ごとに適否を確認 ]

(大橋委員長) 条項第3号の安達傳さんについて、被表彰者として決定してよろしいか。

[ 全員了承 ]

(大橋委員長) 条項第5号の丸岡稔さんについて、被表彰者として決定してよろしいか。

[ 全員了承 ]

(大橋委員長) 条項第6号の山岸秀子さん他2名について、被表彰者として決定してよろしいか。

[ 全員了承 ]

(大橋委員長) 条項第7号の大関道義さん他5名について、被表彰者として決定してよろしいか。

[ 全員了承 ]

(大橋委員長) 条項第8号の酒井由美子さん他1名について、被表彰者として決定してよろしいか。

[ 全員了承 ]

(大橋委員長) 条項第9号の小林美代次さん他2名について、被表彰者として決定してよろしいか。

[ 全員了承 ]

(大橋委員長) それでは、全員被表彰者と決定する。

---

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告事項に入る。報告事項として、平成24年度第1回長岡市熱中！感動！夢づくり教育推進会議報告について、事務局の説明を求める。

(田中学校教育課長) 平成24年度第1回長岡市熱中！感動！夢づくり教育推進会

議について報告する。会議では、今年度事業の進捗状況についてと、事業の評価等について協議した。本事業は今年度で8年目となり、今後の見直しを踏まえ、活発な議論が行われた。子どもの活動を映像や写真でまとめた報告書がほしい。外部からの評価ではなく、参加した子どもの生の声が一番の評価になる。などの意見が出た。会議で出た意見を、今後の事業実施の参考にしていきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、平成24年度第1回長岡市青少年問題協議会会議報告及び平成24年度長岡市青少年健全育成総合対策実施計画について、事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) 当日は19名の委員のうち3名が欠席し、16名が出席した。新任12名のフレッシュ感あふれる会議となった。議題として、長岡市青少年健全育成総合対策実施計画についての協議、関係機関からの報告、事例発表、意見交換を行った。青少年健全育成総合対策実施計画については、お配りした資料のとおり決定された。事例発表では、地域選出の3名から地域での活動について報告があり、それに基づき意見交換を行った。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、附属機関会議報告について、事務局の説明を求める。

(武樋中央公民館長) 平成24年度第2回社会教育委員会、公民館運営審議会について報告する。今回の議題は、長岡市の公民館の平成23年度事業実績について、コミュニティセンターと公民館機能の関わりについて、社会教育委員自主研修についての3点であった。主な意見として、川口地区公民館の宿泊体験活動が希望者5名により中止となったが、貴重な活動なので継続してほしい。中央公民館が昨年度企画した「バスで巡る河井継之助と戊辰戦跡」は、定員の3倍を超える応募があったため抽選となったが、このように人気のものは次年度も企画して応募者全員から参加してほしい。などの意見が出た。

(品田中央図書館長) 平成24年度第1回長岡市図書館協議会について報告する。

主な報告事項として、中央図書館空調設備改修工事、指定管理者の自主事業「語り継ぐもの・中越地震データベース構築事業」などについて報告した。協議事項として、長岡市図書館の活動評価項目の見直しについて協議し、現行の評価項目を整理して、より簡潔となった雛形が提案され、承認された。

(山屋科学博物館長) 平成 24 年度 第 1 回長岡市文化財保護審議会について報告する。協議事項の正副委員長の互選については、昨年度の正副委員長がそのまま留任となった。報告事項として、安禅寺所蔵の不動明王立像と妙法寺所蔵の絵曼荼羅の 2 点について、いずれも優れたものであり、市の指定文化財とするか否かの検討を行った。委員からこれら 2 点の現地調査を行ってもらい、かなり細かい部分まで質問が出た。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 安禅寺所蔵の不動明王立像はいつ頃のもののなのか。

(山屋科学博物館長) それほど古くない。室町時代か鎌倉時代のものである。

(加藤教育長) 妙法寺所蔵の絵曼荼羅はどうか。

(山屋科学博物館長) 曼荼羅様式としては古い部類に入るものである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、平成 24 年度 長岡市成人式(8 月実施分)について、事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) 8 月 14 日、15 日に合計 6 地域で成人式を開催し、委員の皆様からもご出席いただいた。前日 13 日の夜は大雨で心配されたが、14 日の山古志では記念植樹を無事実施することができ、また 15 日は天気に恵まれて大変すばらしい成人式を実施できた。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、不活化ポリオワクチンの接種について、事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) 9 月 1 日から経口生ポリオワクチンが不活化ポリオワクチンに全国一斉に変更となった。接種方法も集団接種から、医療機関に予約して保護

者が子どもを連れて行く個別接種になるなど、大きくしくみが変わった。接種回数は、初回に3回注射を打ち、追加で1回注射を打つことになる。注意事項としては、9月1日導入時点では、4回目の追加接種は定期接種対象外となり、有料で接種しなければならない。現在、国内臨床試験を実施中のため、データが整い次第導入予定である。今までの経口生ポリオワクチンの接種状況により、不活化ポリオワクチンの接種回数が変わるため、お知らせの文書に国のチラシを掲載して注意を促す。11月1日から、三種混合に不活化ポリオワクチンを含んだ四種混合ワクチンが導入される。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。他に報告事項はないか。

(品田中央図書館長) 「金澤翔子書作展」と「若井宣雄の世界」について紹介する。

「金澤翔子書作展」は9月22日から開催する。長岡大花火大会のために揮毫された「長岡大花火」や、最新作「不死鳥」の書などを展示する。「長岡大花火」は一文字が縦横1.5メートルで、作品自体は横幅10メートルの大作である。入場無料なので是非ご覧いただきたい。また、金澤翔子さんの母、金澤泰子さんの講演会を9月30日に中央図書館講堂にて開催する。続いて、栃尾美術館にて「若井宣雄の世界」を9月15日から開催する。山本五十六像などの立派な作品が展示されるので、こちらも是非ご覧いただきたい。また、この方の娘さんが音楽家であり、9月15日にミュージアムコンサートを予定している。

(田中学校教育課長) 全国学力・学習状況調査について、今回初めて理科が実施された。調査の対象となる抽出校は文部科学省が指定し、全体の30%にあたる27校で実施した。本調査は、長岡市の学力実態を把握することを目的としておらず、学習指導の改善に生かすために希望した学校がそれぞれで活用を図るために実施している。また、それぞれの学校では、従来からNRT、CRTなどの標準学力検査を行い、学力実態を把握し指導に生かしている。これらのことから長岡市全体としての調査結果は集計しない。なお、来年度は抽出でなく悉皆で実施する予定である。

続いて7月19日の教育委員協議会で議題となった、通学路の三省庁合同一斉点検について経過を報告する。その後の状況として、長岡市内管轄5警察署と協議し、

各校からの報告の中で特に危険度の高い箇所を、合同一斉点検箇所として抽出した。その結果、長岡市内管轄 5 警察署管内で 91 箇所が危険箇所として抽出された。点検終了箇所は 58 箇所、未実施の 33 箇所については 9 月中に実施予定である。合同一斉点検で検討された主な対策として、学校の対策としては、自分の命は自分で守るという子どもたちへの交通安全指導を行う。道路管理者の対策としては、注意喚起看板やカーブミラーを設置する。「止まれ」「通学路」など路面に文字を入れて注意喚起をする。警察の対策としては、横断歩道を設置する。停止線や標識の補修をする。教育委員会の対策としては、スクールバス集合場所の変更を検討する。スクールバス運用の柔軟化を検討する。などである。課題としては予算面の裏付けがなく、ハード面の対策には限界がある。すぐにできるソフト面の対策に努める一方、道路管理者や警察に対して、今後も対策の実現に向けた要望を続けたい。

(佐藤子ども家庭課長) 9月15日に子育てフェスティバル2012を子育ての駅千秋にて開催する。学生ボランティア46人が参加し、にぎやかに元気いっぱいにやりたいと思う。ファミリー・サポート・センターの活動だよりの配布は今年度で11年目に入った。青少年育成センターが年2回発行している「はぐくみ長岡」に、街頭育成活動実施状況について掲載し、関係機関に情報を提供した。また、「ひとりで悩まないで」カードは今年度から、市内小学生、中学生及び高校生全員に配布することとした。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。これをもって協議報告事項を終了し、本日の定例会を終了する。

---

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に石坂小学校、六日市小学校及び子ども家庭センターを訪問した。委員の皆さんの意見、感想はいかがか。

(羽賀委員) 六日市小学校は生徒数54名、教職員17名で、ほぼ3人に1人の体制となっていた。配慮を要すると思われる児童の比率が高かったが、雰囲気は非常に落ち着いて集中していた。小規模校ならではの特色が出ているが、適正規模を考え



ると課題があるように思う。子ども家庭センターは、あれだけの数の職員であれだけの活動をやっていることに驚いた。長岡市が一貫して子どもの教育に力を入れていることが良く分かる施設である。大切なことは、課題に対応するだけでなく、そもそも課題を生み出している背景を発見することであると考えさせられた。

(大橋委員長) 六日市小学校は低学年の1、2年生が落ち着いていた。また先生方が張り切ってはつらつとしていた。子ども家庭センターの専門職員は、データの取り方、話し方が見事であった。今後、指導方法や課題の背景などについて、ノウハウや情報が蓄積されていったら、より頼もしい施設になると思う。雰囲気も良く、人間関係も良好だった。

(青柳委員) 石坂小学校は全校児童が58名の小さな学校である。印象に残ったことは挨拶運動であった。挨拶は目と目を見合って、アイコンタクトをして始めて挨拶である、という指導が子どもたちに浸透していた。教務室の雰囲気もよくアットホームでよかった。子ども家庭センターは主任児童委員だった頃に困ったことがあると、良く電話をしていたところだが、訪問するのは今回が初めてである。とても雰囲気が良く、保護者が相談しやすいアットホームな雰囲気である。

(中村委員) 石坂小学校の初代校長先生は山本五十六の父親だったとのこと。校舎の中が暑く、特に3階はとても暑かったが、子どもたちは授業に集中していた。小規模校であるため、大規模校の宮内中学校に進学した場合の中1ギャップが心配だったが、クラス分けの時になるべく石坂小学校の子どもを同じクラスにしたり、入学前から前川小学校、宮内小学校と交流をしたりして連携を図っているとのこと。入学直後は戸惑う子どももいるが、すぐに慣れるようである。子ども家庭センターは健康センターに隣接していて、赤ちゃん検診からその後の発達相談に結び付けている。これからも連携して、困っている母親の相談に親身にのってほしい。

(加藤教育長) 石坂小学校が一番若い教員が教務主任と研究主任を兼任していて大変だと思った。今日は暑かったので、日のあたる教室ではなく、空いている日陰の教室を使うなど、もっと柔軟な対応をしてほしい。

---

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

---



会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員